

「国津っ子フェスティバル」を開いて

保護者・地域の方など、広く地域の方に呼びかけて

報告者

三重県名張市立国津小学校 山本 郁子先生

POINT

テレビの募金活動と呼びかけるインフォメーションで、世界の子もたちの様子を垣間見、自分たちにできることは何だろうかと考え始めたことから学習が始まりました。

本やインターネットで調べたり日本ユニセフ協会から送ってもらったパンフレット・ビデオ等で学習したり、途上国に行っていた方の話を聞いたりするうちに、このことを大勢の人に知ってもらわなければいけないという意識ができました。

12月6日に、全校児童・保護者、地域の方などが集まり行われた「国津っ子フェスティバル」では、展示・発表・募金という3つの活動を行いました。展示では、調べたことの他に、日本ユニセフ協会からお借りした地雷のレプリカ、子どもが水汲みの際に使う水がめも水を入れて展示し多くの方に見ていただいたり、体感していただいたりしました。

さらに広い地域の方に呼びかけたいと、後日スーパーマーケットの前で行った募金活動でも、多くの方が温かい声をかけてくださり、募金してくれました。

招待状に折り込み、
来てくださる全ての方に
知っていただくよう子どもたちが
工夫して書きました
また、募金をしていただいた方
には、手作りのしおりを渡しました。



**すべての子ども
に教育を**

ユニセフぽ金
にご協力ください

わたしたち国津小学校のFUNBARIチーム
ではTOKIOの山口たつやさんが
300円で15人の命を救える。と書いて
いるのを聞き、さっそく電報をかけてお話を
聞いて、世界中では、小さいながらも命を失ったり、学校
に行くことができない子どもがたくさんいると知り
ました。ユニセフインターネットパンフレットで調べたり、
青年海外協力が途上国に行かれた方のお話を
伺ったりして、いっしょに自分たちでも何かに
世界の子もたちを助けたいと思いがめあつた。

第25回
ユニセフ
ぽ金

500円 ⇒ エイズの感染を防ぐ
に使う教材を4つ
提供できます。

3,000円 ⇒ 学校に必要な図書一式(15冊)
提供し、14人の子どもに貸します。

12,300円 ⇒ 40の子どもが勉強できる教室1か所
を提供します。

☆12月6日の国津っ子フェスティバルでは、募集額を
しるしと、世界には、小学校に行けない子どもが
1億1,000人います。よろしくお願ひします。



途上国の教育支援
国津小児童の街頭募金

「少しでも助けたい」

海外協力隊員の助言きっかけ

途上国の教育支援
国津小児童の街頭募金

名張